



セルジオさん、掛布さん、増田さんの 豪華解説陣登場！

「きき湯」最新CM

汗ばむ季節におすすめの「カルシウム炭酸湯」を新たに追加した「きき湯」の最新CMは、カラダをケアする「きき湯」ならではのナレーターとしてスポーツ解説者を起用し、説得力のあるナレーションで高い疲労回復効果を演出しました。

ターゲットの30代女性がよく見るスポーツを調査したところ、TOP3がサッカー、野球、マラソンであったことから、セルジオ越後さん、掛布雅之さん、増田明美さんを起用し、スポーツ中継さながらの臨場感で「きき湯」の解説をしていただきました。

■ズバリと辛口解説のセルジオさん

ナレーションの原稿を見て「けっこう早口だね。」と少し不安な様子のセルジオさん。実際、セリフの量が多くて難航していたので、その場で原稿を修正しながら録音を進めていきました。その甲斐あってどんどんセルジオさんらしい口調になっていき、なかでも、冒頭に「あ〜。」というセリフを入れてみたところ、ご自身の言いまわしにぴったりだったようで、最高のナレーションが出来ました。それは、思わず拍手が出てしまうほど素晴らしいものでした。



■明るく楽しい解説の掛布さん

プロ野球セ・リーグ開幕日という忙しい中、お時間をいただいた掛布さん。CM監督の説明が、つい掛布さんのものまね口調になってしまうと、「ものまねうまいね。松村くんみたいだね。」と場をなごませてくれます。CM監督がより掛布さんらしさを求めて、「こんな感じはどうでしょうか？」と相談すると、「本当にそんな風にいるのかなあ？」と言いながらもいやな顔ひとつせず、何度もチャレンジしていただきました。そして、「どうですか？今は掛布らしかったですか？」と一言。明るく楽しい録音風景でした。

■やさしく応援するような解説の増田さん

「おはようございます。」と明るい声で録音スタジオに現れた増田さん。小柄で柔らかな表情は、マラソンというハードな競技の世界に身をおいてきたとは思えないぐらいです。CM監督の指示で色々なパターンのナレーションをする増田さん。「何度でもやらしてください。持久力がありますから。マラソンランナーなんです。」という頼もしい言葉についつい甘え、予定時間を大幅にオーバーしてしまいましたが、次の予定をずらしてまでお付き合いいただきました。

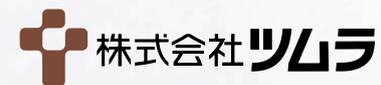


今年も「きき湯」は年間通じて広告展開を行い、夏場も需要を喚起していきます。



第70期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



経営理念 自然と健康を科学する

基本基調 伝統と革新

経営指針

1. 漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献する
1. 重点化と集中化をすすめ強みを活かす
1. 経営環境の変化に機敏に対応する
1. 生命関連企業として漢方を通じ社会的責任を全うする
1. 新しい企業文化を創造する

Contents

株主の皆様へ	2
決算レポート [連結]	3
決算レポート [個別]	5
開発品目一覧	7
会社の概況	7
株式の状況	8
トピックス	9
ツムラ通信	11

表紙の生薬は「黄耆（オウギ）」

キバナオウギ・ナイモウオウギ（マメ科）
中国河北、山西省、東北部、朝鮮半島に産する。
根を薬用とする。

止汗、利尿、強壮薬。肌表の水毒を去る効があり、自汗、盗汗、浮腫、麻痺、疼痛などに用いるほか、補薬としての応用範囲はきわめて広い。

株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第70期事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴い設備投資が増加し、雇用情勢は厳しさが残るものの改善に広がりが見られ、個人消費は緩やかに増加し、輸出・生産は緩やかに増加するという状況で推移しました。

国内医薬品市場におきましては、期初は花粉の飛散によるアレルギー用薬等が大きく伸長したことや、高血圧症治療薬等の主要薬効群が好調であったこともあり、前期を超える伸びを示し、市場の底上げが感じられました。

このような状況下、当社グループでは医療用医薬品の適正使用に関する情報の提供活動、ならびに有効性・安全性に関する情報の収集・伝達活動、医薬部外品の販売促進活動の展開に努めるとともに、業務の効率化に取り組んでまいりました。

当社グループにおける医薬品事業におきましては、継続して実施してまいりました漢方医学の普及活動が浸透するとともに花粉症の流行等による医薬品市場の拡大が相俟って、前期を上回る売上高となりました。

医薬部外品を中心とする家庭用品事業におきましては、「顧客満足」を事業展開の基本におき、販売促進活動の展開に努めるとともに、業務の効率化に取り組んできた結果、前期を上回る売上高となりました。

当連結会計年度の医薬品事業及び家庭用品事業を合わせた売上高は、前期比6.6%増の904億1千9百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前期比37.7%増の164億6千7百万円、経常利益は前期比51.5%増の155億7百万円となりました。当期純利益は前期比19.0%増の123億8千万円となりました。

当社グループが、将来に向けて成長・発展し続けるために克服すべき主な課題は、以下に掲げる項目であると考えております。

- ① 経営資源の効率的投下と経営改善のさらなる推進
- ② 漢方医学の確立に向けた取り組み
- ③ 家庭用品事業の継続と自立
- ④ 漢方の国際化の推進
- ⑤ 生産能力の増強と製品の安定供給
- ⑥ 生薬・漢方研究の充実
- ⑦ グループ経営の効率化

これらの課題に対応すべく諸施策を積極的に推進するとともに、企業活動の前提となる社会的責任を果たすため、コーポレート・ガバナンス体制の一層の強化・充実に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

著 堀 順一

決算レポート [連結] Financial Report [Consolidated]

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 平成18年 3月31日現在	前期 平成17年 3月31日現在	科目	当期 平成18年 3月31日現在	前期 平成17年 3月31日現在
(資産の部)	135,158	122,674	(負債の部)	79,482	83,040
流動資産	57,309	54,175	流動負債	53,194	50,685
現金及び預金	9,389	6,057	支払手形及び買掛金	3,765	6,337
受取手形及び売掛金	27,898	28,086	短期借入金	35,630	36,311
有価証券	-	24	未払法人税等	633	247
たな卸資産	16,468	15,655	返品調整引当金	93	99
繰延税金資産	1,003	2,874	その他の流動負債	13,072	7,690
その他の流動資産	2,610	1,537	固定負債	26,287	32,354
貸倒引当金	△ 60	△ 59	長期借入金	11,830	18,696
固定資産	77,846	68,499	預り保証金	6,439	6,864
有形固定資産	48,497	47,702	繰延税金負債	3,988	1,443
建物及び構築物	53,070	53,465	再評価に係る繰延税金負債	1,803	303
機械装置及び運搬具	26,921	26,182	退職給付引当金	1,858	4,828
工具器具備品	8,745	9,975	役員退職慰労引当金	211	213
土地	15,635	16,044	その他の固定負債	155	4
建設仮勘定	2,796	1,105	(少数株主持分)	1,051	809
減価償却累計額	△ 58,671	△ 59,070	(資本の部)	54,625	38,824
無形固定資産	1,410	1,340	資本金	19,487	19,487
投資その他の資産	27,939	19,455	資本剰余金	1,940	1,940
投資有価証券	24,707	16,270	利益剰余金	26,013	16,226
長期貸付金	159	194	土地再評価差額金	669	259
その他の投資等	3,324	3,286	その他有価証券評価差額金	7,125	2,119
貸倒引当金	△ 253	△ 295	為替換算調整勘定	△ 332	△ 1,031
繰延資産	2	-	自己株式	△ 278	△ 177
資産合計	135,158	122,674	負債、少数株主持分及び資本合計	79,482	83,040

Point 解説

(資産の部)

- **固定資産** 前期比 9,347百万円増加
投資有価証券の8,437百万円増加は、主に株価上昇に伴うものです。
- **流動資産** 前期比 3,134百万円増加
現金及び預金は利益増、本社・六番町ビル売却手付金等により3,332百万円増加しました。

Point 解説

(資本の部)

株主資本は前期比15,801百万円増加し、株主資本比率は40.4%になりました。

(負債の部)

- **流動負債** 前期比 2,509百万円増加
 - **固定負債** 前期比 6,067百万円減少
退職給付引当金は、退職給付制度変更に伴う一括拠出等により2,970百万円減少しました。
- 〈有利子負債〉
前期に比べ7,497百万円減少し、47,611百万円となりました。

◆連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 自平成17年 4月1日 至平成18年 3月31日	前期 自平成16年 4月1日 至平成17年 3月31日
営業収益	90,419	84,837
売上高	90,419	84,837
営業費用	73,951	72,874
売上原価	28,000	26,522
販売費及び一般管理費	45,951	46,351
営業利益	16,467	11,962
営業外収益	818	611
営業外費用	1,778	2,338
経常利益	15,507	10,234
特別利益	734	393
特別損失	1,515	2,080
税金等調整前当期純利益	14,726	8,548
法人税、住民税及び事業税	515	300
法人税等調整額	1,731	△ 1,882
少数株主利益又は少数株主損失(△)	99	△ 271
当期純利益	12,380	10,401

Point 解説

●売上高

売上高は前期比6.6%増加し、90,419百万円となりました。医薬品事業の売上高は前期比6.5%増加しました。家庭用品事業の売上高は新製品の投入等により前期比6.8%増加しました。

●営業利益

過去最高益。原価率は前期比0.3ポイント改善し、31.0%となりました。業務効率化による販管費の削減効果に加え、前期に計上していた上海津村製薬有限公司の開業費一括償却555百万円が当期にはないこと等から、販管費率は3.8ポイント改善し、50.8%となりました。家庭用品事業の営業利益は前期比1,090百万円増加して、692百万円となり、15期ぶりの営業黒字となりました。研究開発費は前期比約5億円減少し、4,856百万円となりました。当期の米国での開発費は約340百万円です。

●経常利益

過去最高益。支払利息の減少により営業外費用が減少しました。

●当期純利益

過去最高益。

◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 自平成17年 4月1日 至平成18年 3月31日	前期 自平成16年 4月1日 至平成17年 3月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,726	8,548
減価償却費	2,761	2,782
減損損失	933	-
貸倒引当金の減少額(△)	△ 41	△ 38
受取利息及び受取配当金	△ 257	△ 232
支払利息	1,476	1,694
有形固定資産売却・売却損益	12	512
売上債権の増加額(△)・減少額	274	△ 7,947
たな卸資産の増加額(△)・減少額	△ 634	233
仕入債務の増加額・減少額(△)	426	△ 224
退職給付引当金増加額・減少額(△)	△ 2,969	1,066
投資資産等評価損	2	13
その他	△ 683	392
小計	16,030	6,799
利息及び配当金の受取額	273	246
利息の支払額	△ 1,502	△ 1,688
法人税等の支払額	△ 207	△ 292
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,593	5,063
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得/売却による収入支出	△ 2,407	△ 3,029
投資有価証券の取得/売却による収入支出	184	1,056
貸付金の回収による収入/買付による支出	34	52
その他	△ 260	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,448	△ 1,752
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入/返済による収入支出	△ 959	△ 3,738
長期借入金の借入/返済による収入支出	△ 6,692	△ 5,804
配当金の支払額	△ 1,266	△ 913
その他	△ 46	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,964	△ 10,456
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	127	△ 24
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)	3,308	△ 7,170
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,018	13,189
VII 現金及び現金同等物の期末残高	9,326	6,018

Point 解説

●営業活動によるキャッシュ・フロー

退職給付制度変更に伴う一括拠出を行いました。利益増等により14,593百万円の資金増となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

茨城工場工キス粉末製造設備増設、深圳津村製薬有限公司の生薬加工設備工事等により2,448百万円の資金減となりました。

●現金及び現金同等物の期末残高

前期比で3,308百万円増加しました。

決算レポート [個別] Financial Report [Non-Consolidated]

◆個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 平成18年 3月31日現在	前期 平成17年 3月31日現在	科目	当期 平成18年 3月31日現在	前期 平成17年 3月31日現在
(資産の部)	131,308	120,181	(負債の部)	76,393	79,760
流動資産	56,272	53,316	流動負債	51,061	49,072
現金及び預金	8,230	4,645	支払手形及び買掛金	2,863	5,572
受取手形及び売掛金	27,572	27,340	短期借入金及び1年内返済予定長期借入金	34,657	35,612
有価証券	—	24	未払金及び未払費用	11,319	7,365
たな卸資産	15,742	15,778	返品調整引当金	93	99
前払費用	838	630	その他の流動負債	2,128	423
繰延税金資産	991	2,826	固定負債	25,331	30,688
その他の流動資産	2,953	2,128	長期借入金	11,056	17,117
貸倒引当金	△ 56	△ 56	預り保証金	6,439	6,864
固定資産	75,035	66,865	繰延税金負債	3,985	1,443
有形固定資産	41,683	40,446	再評価に係る繰延税金負債	1,803	303
建物及び構築物	19,155	19,734	退職給付引当金	1,839	4,772
機械装置及び運搬具	3,674	3,845	役員退職慰労引当金	207	187
工具器具備品	1,034	1,064	(資本の部)	54,915	40,420
土地	15,022	14,739	資本金	19,487	19,487
建設仮勘定	2,796	1,062	資本剰余金	1,940	1,940
無形固定資産	479	481	資本準備金	1,940	1,940
投資その他の資産	32,872	25,937	利益剰余金	25,970	16,791
投資有価証券	24,687	16,250	利益準備金	238	100
子会社株式	596	1,796	当期末処分利益	25,732	16,691
出資金	5,648	5,686	土地再評価差額金	669	259
長期貸付金	159	688	その他有価証券評価差額金	7,125	2,119
敷金	1,598	1,498	自己株式	△ 278	△ 177
その他の投資等	435	312			
貸倒引当金	△ 253	△ 295			
資産合計	131,308	120,181	負債及び資本合計	131,308	120,181

Point 解説

(資産の部)

- **固定資産** 前期比 8,170百万円増加
投資有価証券の増加は、主に株価上昇に伴うものです。子会社株式が1,200百万円減少しているのは、日本生薬株式会社を吸収合併したことによるものです。
- **流動資産** 前期比 2,956百万円増加
現金及び預金は利益増、本社・六番町ビル売却手付金等により3,585百万円増加しました。

Point 解説

(資本の部)

株主資本は前期比14,495百万円増加し、株主資本比率は41.8%になりました。

(負債の部)

- **流動負債** 前期比 1,989百万円増加
- **固定負債** 前期比 5,357百万円減少
退職給付引当金は、退職給付制度変更に伴う一括拠出等により2,933百万円減少しました。
- △ **有利子負債**
前期に比べ7,016百万円減少し、45,713百万円となりました。

◆個別損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 自平成17年 4月1日 至平成18年 3月31日	前期 自平成16年 4月1日 至平成17年 3月31日
営業収益	86,125	81,587
売上高	86,125	81,587
営業費用	70,642	69,466
売上原価	24,660	23,335
販売費及び一般管理費	45,982	46,130
営業利益	15,483	12,121
営業外収益	709	583
営業外費用	1,611	2,165
経常利益	14,582	10,539
特別利益	734	393
特別損失	1,509	1,499
税引前当期純利益	13,807	9,433
法人税、住民税及び事業税	487	85
法人税等調整額	1,698	△ 533
当期純利益	11,621	9,881
前期繰越利益	15,642	6,809
合併引継利益	145	—
土地再評価差額金取崩額	1,211	—
中間配当	423	—
中間配当に伴う利益準備金積立額	42	—
当期末処分利益	25,732	16,691

Point 解説

●(売上高)

売上高は前期比5.6%増加し、86,125百万円となりました。医薬品事業の売上は前期比5.6%増。大建中湯12.9%増、六君子湯11.1%増、芍薬甘草湯14.4%増等となりました。家庭用品事業は新製品の投入等により前期比5.2%増。バスクリン12.4%増、ピュアスキン128.7%増、きき湯7.4%増等となりました。

●(営業利益)

過去最高益。原価率は前期同様28.6%となりました。業務効率化による販管費の削減効果等もあり、販管費率は3.1ポイント改善し、53.4%となりました。

●(経常利益)

過去最高益。支払利息の減少により営業外費用が減少しました。

●(当期純利益)

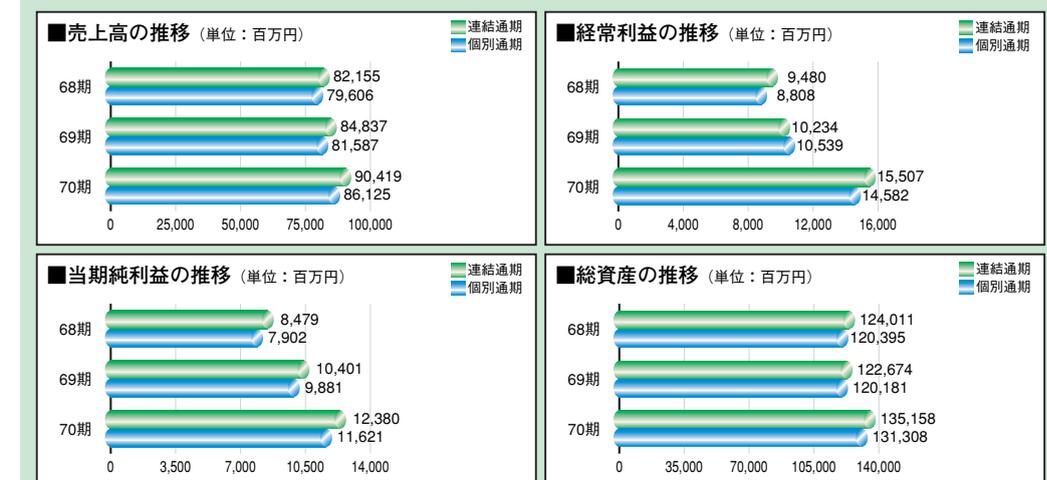
過去最高益。

◆利益処分

(単位：円)

摘要	金額
当期末処分利益	25,732,015,043
上記金額を以下のとおり処分します。	
利益準備金	69,410,536
利益剰余金	564,516,328
1株につき 8円	
取締役賞与金	120,000,000
次期繰越利益	24,978,088,179

※平成17年12月5日に423,494,646円（1株につき6円）の中間配当を実施いたしました。



開発品目一覧

【海外】

開発ステージ	一般名	剤型または経路	適応予定	自社・導入先
Phase-II	keishibukuryogan	錠 剤	更年期に伴うホットフラッシュ	自社
Phase-II	daikenchuto	顆 粒 剤	手術直後のイレウス	自社

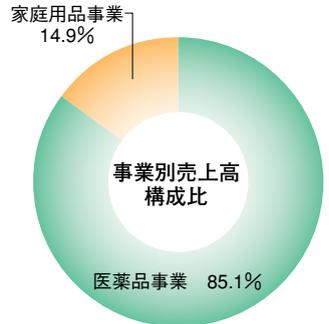
Phase-IIは、医薬品の開発段階を表します。今後Phase-IIIを経てFDAに申請し、審査をパスすると新薬承認が与えられます。

会社の概況 (平成18年3月31日現在)

●会社概要

創 業 明治26年4月10日
 設 立 昭和11年4月25日
 資 本 金 194.87億円
 従業員数 2,385名 (出向者23名含む)
 事業内容 下記製品の製造、販売ならびに輸出入

事業区分	製品分類	主要製品名
医薬品事業	医療用医薬品	医療用漢方製剤129品目、抗真菌剤アスタット、ウィルソン病治療薬メタライト250カプセル、低用量経口避妊剤シンフェースT28他
	一般用医薬品	中将湯・ラムール等の婦人薬、一般用漢方製剤他
	その他の医薬品等	理化学機器、特殊肥料他
家庭用品事業	医薬部外品	入浴剤 (バスクリン・ピュアスキン・ナチュラルリラックス・クールバスクリン・ソフレ・日本の名湯シリーズ・きき湯他)、育毛剤 (モウガ) 他
	雑 貨 品	浴室洗浄剤バスピカ他
	化 粧 品	ボディソープ (なごみ) 他
	その他の家庭用品等	キッチンアクアショット他



●取締役及び監査役

代表取締役社長	風 間 八左衛門	取締役	市 尾 義 昌	取締役	鈴 木 正 久
代表取締役社長	芳 井 順 一	取締役	大 原 剛	常勤監査役	横 田 孝 久
専務取締役	桑 原 耕 三	取締役	上 田 賢 示	常勤監査役	村 山 努
常務取締役	島 田 正 喜	取締役	久 島 正 史	監 査 役	大 西 昭 一 郎
常務取締役	森 善 樹	取締役	荒 井 聡	監 査 役	西 川 清 敏

●ネットワーク

本 社 〒102-8422 東京都千代田区二番町12番地7
 電話 (03) 3221-5210
 ホムペーヅ <http://www.tsumura.co.jp/>

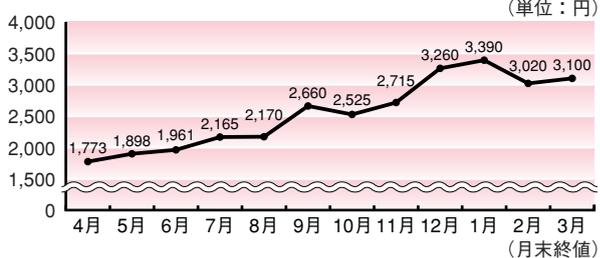
中央研究所 〒300-1192 茨城県稲敷郡阿見町吉原3586
 静岡工場 〒426-8539 静岡県藤枝市築地392
 茨城工場 〒300-1192 茨城県稲敷郡阿見町吉原3586

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

●発行可能株式総数 250,000,000株
 ●発行済株式の総数 70,771,662株
 ●株主数 5,834名
 ●大株主

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	6,188	8.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	4,220	5.96
エイチエスピーシーファンドサービススパークスアセットマネジメントコーポレイテッド	4,035	5.70
エイチエスピーシーファンドサービススパークスアセットマネジメントリミテッドユー-エスクライアント	3,671	5.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,697	3.81
指定単受託者三井アセット信託銀行株式会社1口	2,409	3.40
ツムラ従業員持株会	2,025	2.86
第一製薬株式会社	1,525	2.15
大日本住友製薬株式会社	1,092	1.54
株式会社三井住友銀行	932	1.32

●株価推移 (平成17年4月～平成18年3月)

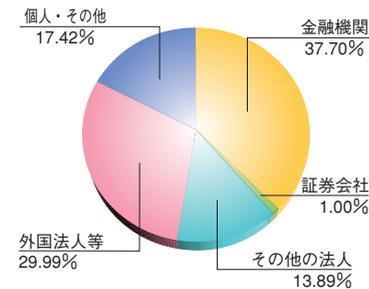


株主メモ

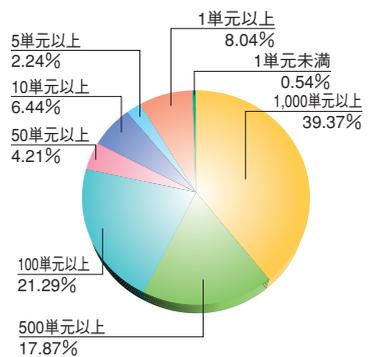
事業年度 4月1日～翌年3月31日
 配当金受領 ①期末配当金 毎年3月31日
 株主確定日 ②中間配当金 毎年9月30日
 定時株主総会 毎年6月中
 基準日 毎年3月31日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒171-8508
 連絡先・送付先 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) ※
 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

単元株式数 1,000株
 単元未満株式の買取 買取請求取扱場所 株主名簿管理人がお取扱いたします。なお、株券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社にお申し出下さい。
 手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
 公告方法 公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 ※住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、専用のフリーダイヤル0120-86-4490 (24時間：自動音声対応) にて承ります。

■所有者別分布状況



■所有株式数別分布状況



2005年4月

○女性向け発毛促進剤「モウガL」新発売

抜け毛や薄毛などの髪の悩みを抱える女性が増えており、女性向け育毛剤市場が大いに注目されています。当社でも「インセント モウガ」の発売を機に、多くの方から「女性にも使えますか？」というお問合せが寄せられていました。そのようなお客様の声を受け誕生したのが「モウガL」です。ターゲットである女性を強く意識し、容器は持ちやすい形を採用し、パッケージはやさしい色合いのものとなりました。



2005年5月

○「大建中湯エキス顆粒」米国FDAにIND申請

医療用漢方製剤「ツムラ大建中湯エキス顆粒（医療用）」（申請薬剤名：大建中湯エキス顆粒（TU-100））について、米国FDAにIND申請（治験薬使用許諾申請）を行いました。今回のIND申請は、治験対象疾患を「手術直後のイレウス（postoperative ileus、術後消化管機能障害）」として行うものです。

2005年8月

○「バスクリン 摘みたて緑茶の香り」新発売

バスクリンシリーズに、緑茶が持つ独特の日本の香りを楽しめる「摘みたて緑茶の香り」を追加しました。天然緑茶香気成分を配合し、摘む直前の新鮮な茶葉のようなシトラスグリーンのお湯につかれば、お茶を飲んだ時のようなリラックスした気持ちになれます。ご家族では是非ご使用ください。



○発熱、さむけ、ふしづしが痛むかぜに

「麻黄湯 内服液」新発売

「麻黄湯」は、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、身体のふしづしが痛い場合に用いる処方です。今回発売したのは液体タイプで、眠くなる成分を含んでいませんので、仕事や車の運転の合間にも服用できる便利な漢方内服液です。また、漢方かぜ薬シリーズの内服液は「麻黄湯」を含め5種類となり、自分の症状に合った処方を選ぶことができます。



2005年9月

○おなかにやさしく作用して効く漢方便秘薬

「大黄甘草湯 内服液」「大黄甘草湯エキス顆粒」新発売

現代は、ストレス、運動不足、ダイエット志向による小食傾向など、便秘をまねく要因があふれています。そのような日常生活における様々な要因で便秘に悩んでいる方に、大黄甘草湯をおすすめします。今回は、利便性に優れた内服液のほかに、携帯性に優れた顆粒剤も用意しました。



○バスクリン ピュアスキンリニューアル発売

「ローズヒップ」「ヒアルロン酸」「ローヤルゼリー」

女性に人気の高いうるおい成分を配合するとともに、パッケージデザインも一新しました。「バスクリン ピュアスキン」は、ミネラル有効成分が入浴効果を高め、素肌の新陳代謝を促進する入浴剤です。この有効成分と保湿成分のW構造で、うるおいが浸透します。リニューアル発売で、目標を大幅に上回る売上を達成することができました。



2005年10月

○子会社の吸収合併（簡易合併）

グループ経営の効率化の一環として、当社の100%子会社である日本生薬株式会社を吸収合併いたしました。この合併は、当社グループ内で培った医薬品原料（生薬）の加工・管理・品質保証体制を効率化・強化することを目的としたものです。

2006年1月

○「バスクリン やさしい さくらの香り」新発売

バスクリンシリーズに、さくらの花エアロマ香料を配合、気持ちや和み、入浴後もさくらの花のイメージが持続します。桜並木からひらひらと舞い落ちる花びらが散りばめられているようなお湯につかれば、自宅のお風呂にながらにして、いつでも春の気分を味わうことができ、心が癒されます。



2006年2月

○健康食品事業の営業譲渡契約締結

2005年10月1日付で吸収合併した日本生薬株式会社が行っていた健康食品事業を、株式会社Jハーブへ譲渡することとし、営業譲渡契約を締結いたしました。

2006年3月

○手に取りやすい新パッケージ&小包装タイプの

「防己黄耆湯エキス顆粒」「乙字湯エキス顆粒」新発売

「防己黄耆湯」は、立ち仕事やデスクワークで脚がむくむ、ブーツやヒールで脚がむくむといった症状を改善したいというニーズに応えた漢方薬です。「乙字湯」は、便秘や下痢、出産、肉体的疲労、ストレス、冷え、飲酒、生理などが原因で起こると言われている痔の症状を改善したいというニーズに応えた漢方薬です。



《会社分割による家庭用品事業の分社化》

当社は、最大の強みである「生薬・漢方」への特化と利益向上を目指した企業活動を行っています。これに基づき、2006年10月1日を期して、家庭用品事業を会社分割し、100%子会社を新たに設立することを決定しました。家庭用品事業は、主力である医薬品事業とは業態が大きく異なっていることなどから、間接費用の負担軽減等により、事業の継続と自立をより強力に推し進めることとしたものです。

○「きき湯 カルシウム炭酸湯」新発売

「きき湯 カルシウム炭酸湯」は、温泉ミネラルと炭酸ガスの温浴効果により、暑い季節特有のけだるい疲労、肩こりなどの気になる症状を緩和します。さわやかな清涼ラムネの香りと透きとおった空色の湯で、夏場も心地よく入浴できます。また、夏場に38℃位のぬる湯に少し長めに浸かることをおすすめしています。ぬる湯に入ると、副交感神経も優位に働きますので、汗ばむ季節にもくつろいだ気分が持続します。



○発毛促進に加え脱毛を抑制する育毛剤

「モウガ シナジーX」女性向け育毛剤「モウガL エクストラ」新発売

「モウガ シナジーX」「モウガL エクストラ」は、発毛促進と脱毛抑制効果により、男性が期待している、より深く根強い髪へと導き、また女性にとって重要な、いつまでも若々しく美しい髪を保ちたいという要望に応えた商品です。有効成分は従来と同じ生薬100%です。植物性保湿成分のボタンビエクスと今回新たに保湿成分として、桑根皮エキスも加わりました。髪分け目、頭頂部、生え際、いずれの部位にも使用できます。無香料、防腐剤不使用でべたつきがなく、さらとした使い心地で、髪の悩みを抱える多くの方のニーズに対応しています。



《本社ビル及び六番町ビルの売却》

医療用漢方製剤の需要増加に伴う生産設備の拡充、国際展開に伴う研究開発投資等に対する資金調達及び効率的投下を、当面の最重要課題と位置づけております。この課題を克服し、資本効率の改善、さらなる収益率の向上を図るため、本社ビル及び六番町ビルを売却することとしました。